

平成 27 年度 学校評価・学校関係者評価実施結果報告書

岡山県理容美容専門学校

1. 教育目標

本校は、実践的な理容・美容の職業教育を行い、これからの社会のニーズに対応できる優れた理容師・美容師を養成する理容美容専門学校である。

そのためには、一人一人の学生に基礎技術から専門的な技術・技能・知識の修得が出来るよう教育環境を整え、その中で理容・美容業の厳しさや楽しさなども体得させながら、理容・美容業に誇りを持った学生の育成に努めなければならない。そして、何より、理容・美容業がお客様に満足してもらえ技術とサービスを提供する業であることを認識させなければならない。

そこで、本校では従来から次の教育目標を掲げている。

- ・誠意----すべてのお客様に対して、真心を持って接することができるよう、日常において接客の心構えを持たせる。
- ・熱意----いかなる時でもお客様が満足できる結果が得られるよう、一生懸命頑張れる精神力を養う。
- ・創意----お客様に満足してもらえ必要な知識、技術、快適な施設や設備など、常日頃からよりよいものを創り出そうとする意識を持たせる。

これらの教育目標は、在学中はもとより理容・美容業に従事する上で、生涯持ち続けてほしいと願っている。

2. 本年度の重点目標と計画

① 国家試験の全員合格

平成 26 年度に引き続き、理容科・美容科学生为国家試験全員合格を目指す。

実技試験では、器具等の取り扱いと衛生管理の徹底を指導していく。また、筆記試験では過去の国試問題を分析検討し、授業における基礎学力の向上をはかる。

② 理容・美容業界と連携の強化

本年度も理容実習・美容実習において、理容・美容業界のトップレベルの講師と連携し、多様化する知識・技術の習得を行い学生のスキルアップをはかる。

③ 職業実践におけるインターンシップの充実

実践教育を行ううえで最も効果的なインターンシップを充実させる。理容所・美容所の指導者と事前に連絡を取り、実習内容が当初の計画通り達成できるよう綿密な打合せと確認を

行っていく。

④ 防災教育の徹底

自然災害(地震・台風・大雨・水害等)や火災などの事故発生時に、一人一人が身を守るためにはどうすればよいか、普段からどのような対策が必要かなどの防災教育や避難訓練を行っていく。

⑤ 学生支援の強化

学生が安心して修学できるよう、授業に対する不安や経済的問題、就職の悩みなどを担任・学年主任が面談等で解消する。また、1年生全員には校長面談を行い、学生生活が安定しておくれるよう支援する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

番号	評価項目	評価
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④ 3 2 1 0
1-2	学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1 0
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1 0
1-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

1-4 の設問では、学生アンケートによると約 95%の肯定度があり、学生は本校の教育理念・目的等を十分理解していると思われる。また、教員が行う授業では理容・美容の実習や理論を通して職業意識の向上や理容師・美容師の在り方など、将来の目標に対するモチベーションアップを行っている。しかし、保護者に対しては直接接する機会が少なく、周知に関しては若干不十分と思われる。

② 今後の改善方策

保護者に対して、ホームページなどで学校の理念・目的・育成人材等の周知に努めたい。

(2) 学校運営

番号	評価項目	評価
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1 0
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1 0
2-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか有効に機能しているか	④ 3 2 1 0
2-4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	④ 3 2 1 0
2-5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1 0
2-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1 0

2-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1 0
2-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

学園理事会により学校運営方針が示され、その目的に沿って本校の運営は健全に行われている。また、就業規則・給与規定・産休・育休などの規定も整備され、教職員が勤務に安心して専念できるよう整えている。教員組織も正常に機能し、職員会議や職員終礼において意思決定を行い教職員相互の情報交換及び共通認識を十分に図っている。

② 今後の改善方策

教育活動等における情報公開では、毎回ホームページの新着情報でお知らせしているが、なお一層の学校情報をホームページ上で公開する。さらに、情報システム化では、パソコンやコピー機を順次更新し教育活動や学級事務の効率化を進めていきたい。

(3) 教育活動

番号	評価項目	評価
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1 0
3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1 0
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1 0
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1 0
3-5	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置付けられているか	④ 3 2 1 0
3-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1 0
3-7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1 0
3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1 0
3-9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1 0
3-10	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1 0
3-11	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1 0
3-12	職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

理容・美容業界との連携は、従来から実施していたが、平成27年度から職業実践専門課

程として、教育課程の編成を行っている。ただし、教育課程の編成は、理容師養成施設指定規則及び美容師養成施設指定規則の定められた基準があるため、カリキュラムの大幅な変更は難しい。しかし、理容生活衛生同業組合・美容生活衛生同業組合と職業教育協定書を結び、業界トップレベルの講師による魅力ある授業や実践教育並びに理容師・美容師の全員国家資格取得を目指して取り組んでいる。また、インターンシップでは、1年次2年次における適切な実施日数と目標を掲げるとともに、技術分野・接客分野・衛生分野における指導項目を設定し、職業実践教育の目的が達成出来るよう計画を行った。

② 今後の改善方策

理容師・美容師の付加価値としてのメイク・エステ・ネイル・着付け等の検定試験日程を年間計画で早く知らせるとともに、当該科目の実技習得や筆記試験対策が万全な準備で行えるよう、カリキュラムの中で体系的に編成していきたい。

(4) 学修成果

番号	評価項目	評価
4-1	就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1 0
4-2	資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1 0
4-3	退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1 0
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

平成27年度3月卒業(昼間課程)の国家試験合格率は、理容科100%、美容科95.9%となり、2科とも昨年度を上回り資格取得率の向上が達成出来ている。また、本校の合格率は毎年全国平均を上回る成果をあげている。就職率は希望者全員が就職を達成するなど良好である。

② 今後の改善方策

卒業生に対しては、定期的に連絡が取れる体制を構築し、就労状況やコンクール等の活動状況など情報収集を行う。また、本校同窓会が定期総会や会誌の発行など、活発な活動を行い卒業生と母校との絆を深めていけるよう協力していきたい。

(5) 学生支援

番号	評価項目	評価
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 0

5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1 0
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1 0
5-7	保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1 0
5-8	卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1 0
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

課外活動では、理容組合・美容組合のコンクール、全国理容美容学生技術大会、その予選である中国大会などがあるが、いずれも本校教員の技術指導並びに後援会(保護者)と連携して、着物・ウィッグ・用品等の補助を行うなど、強力なバックアップ体制を整えている。今後も一層の支援体制を整えていきたい。

なお、卒業生に対しては昼間課程・通信課程にかかわらず、国家試験不合格者には無料で試験対策の補講を行っているが、過年度生によっては連絡が不十分になる場合があるので補講の周知徹底をはかりたい。また、学期は前期・後期ではあるが、授業料については月ごとの納入とし経済的負担を少しでも軽減している。

② 今後の改善方策

校医による定期健康診断や結核検診など前期の4月に行っているが、後期においても特に国家試験直前には健康管理に留意するよう心がけたい。

(6) 教育環境

番号	評価項目	評価
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1 0
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1 0
6-3	防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

平成 26 年度には、トイレ全面リニューアル工事が終了し教育環境はますます充実した。

学外における理容所・美容所でのインターンシップは、管理理容師・管理美容師の資格を有した指導監督のできる理容師・美容師のもと実践教育を行っている。また、防災関係では避難訓練を実施するとともに、火災報知機、消化施設・設備の点検、教員の安全防災研修を行い防災体制の整備に取り組んだ。

② 今後の改善方策

避難訓練は今後も継続し、自然災害(地震・台風・大雨・水害等)に対する防災教育を推進していきたい。

(7) 学生の受入れ募集

番号	評価項目	評価
7-1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	④ 3 2 1 0
7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1 0
7-3	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	④ 3 2 1 0
7-4	学生納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

岡山県内の高等学校進路課に年3回程度訪問して、本校の現状や在校生の状況を報告するとともに平成28年度募集要項を配布して説明をした。また、高校生に対する活動では、校内で実施する進学相談会や校外で行われる会場型進学ガイダンスに参加して募集を行った。これにより、本校の情報は適正かつ正確に提供できたものと思う。

学納金の納付では、募集要項に入学前と入学後に分けて詳細に記載している。入学手続きや入学後の授業料等においても全ての学納金を一度に納めることはなく、学生・保護者に負担のかからないよう配慮をしている。

② 今後の改善方策

学生募集において、正確に本校を知ってもらうには体験入学やオープンキャンパスが有効である。次年度は体験入学等の回数も増やして高校生に情報提供を行っていきたい。

(8) 財務

番号	評価項目	評価
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1 0
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1 0
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1 0
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

本校の学園会計を指導する指吸会計センターから、本年度の学園会計は健全であり財政基盤は安定していることの報告を受けた。また、学園監事により学園・学校運営や資金収支においても適正であることの監査報告を受けている。なお、これからもより一層の透明性と健全経営を図っていく所存である。

② 今後の改善方策

学生にとって魅力ある学校経営を続けるには、学園の財政基盤の安定が不可欠である。

その為にも、2018年問題、いわゆる18歳人口の減少化が避けられない状況にあることを鑑みて常に成長戦略を模索し一定数の学生確保に努めなければならないと思っている。財務状況の公開は、平成27年度からホームページ上で情報を公開している。

(9) 法令の遵守

番号	評価項目	評価
9-1	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1 0
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1 0
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1 0
9-4	自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

理容師養成施設指定規則・美容師養成施設指定規則及び専修学校法に基づき適正に運営を行った。個人情報保護対策ではセキュリティソフトの導入や書類管理の徹底などを行っている。学生アンケートを前期・後期に2回実施し、各分類項目の分析を行い問題点の解決をはかった。また、教職員による自己評価の結果に基づいて、学校関係者評価委員会において、客観的評価を得て学校運営の改善を図った。

② 今後の改善方策

次年度においても、関連する業界団体と連携協力し、自己評価での問題点や学校関係者評価での提言を受け入れて、よりよい学校づくりに励んでいきたい。

(10) 社会貢献・地域貢献

番号	評価項目	評価
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1 0
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

③ 特記事項

本校では、物理的・時間的に許す限り社会貢献・地域貢献や他の教育機関との連携授業並びに施設使用の提供を行っている。

- ・豪雨災害時における緊急避難場所-----岡山市大元学区連合町内会
- ・チャレンジワーク！お仕事体験教室-----岡山市立福田公民館
- ・理容科交流実習-----岡山県立岡山聾学校
- ・うらじゃ祭り(うらじゃ踊り参加とメイクボランティア)---うらじゃ実行委員会
- ・65歳以上の親睦会場-----岡山市北区大元「若草町 よつ葉サロン」

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

平成27年度の学校運営について、在学者数並びに入学者数は順調であり学校運営の安定的基盤を築いている。また、本年度は美容科に選択コースとして美容コースとトータルビューティーコースを設置し時代のニーズに応える美容科となっている。さらに、職業実践専門課程として理容・美容業界と密接に連携し、講師派遣による実習や国家試験対応の検討、あるいは職業実践の中核的教育といわれるインターンシップなどに取り組んできた。なお、教職員には、積極的に校外研修に参加させ各種の資格取得を行わせることで授業等の教育活動に役立てることができた。